

Software Product Description

日本語 hp DECwindows Motif for hp OpenVMS Alpha, Version 1.3 ソフトウェア仕様書

SPD 28.A8.08

製品概要

日本語 HP DECwindows Motif for HP OpenVMS Alpha (日本語 DECwindows Motif) デスクトップ環境は、日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システム用の Motif ベースのグラフィカル・ユーザ・インタフェース (GUI) です。Motif グラフィカル・ユーザ・インタフェースは業界標準のインタフェースとして広く知られています。このインタフェースでは、マウスを使用することによって、日本語 OpenVMS Alpha との対話的処理ができるようになっていきます。DECwindows にはデスクトップ・アプリケーションが統合されており、OpenVMS ユーザに基本的なデスクトップ・ツールを提供します。各アプリケーションを使用することによって、このユーザ・インタフェースの優れた操作性をご理解いただくことができます。

日本語 DECwindows Motif は、X Window System に固有のクライアント/サーバ分散システムをサポートしています。クライアント/サーバ・モデルの各ノード間で通信を行うトランスポート機能により、X Window System のクライアントをあるノードで実行し、その出力を別のノードに表示することができます。DECwindows X11 ディスプレイ・サーバは、X Window System Version 11, Release 6.6 (X11R6) ディスプレイ・サーバといくつかの拡張オプションを OpenVMS Alpha にポーティングしたものです。

DECwindows アプリケーションを実行できるデスクトップとして、2種類のグラフィカル・ユーザ・インタフェースが用意されています。日本語 DECwindows Motif の以前のバージョンで提供していたグラフィカル・ユーザ・インタフェースは "従来の DECwindows デスクトップ" と呼ばれ、本リリースでも利用することができます。もう一つのユーザ・インタフェースは

New Desktop 環境と呼ばれ、CDE (Common Desktop Environment) ベースのデスクトップです。CDE は Motif および X11 をベースにしており、次世代のデスクトップとして知られています。CDE の主なサブセットは、New Desktop として OpenVMS Alpha で提供されています。

新機能

日本語 HP DECwindows Motif for HP OpenVMS Alpha V1.3 リリースは、OpenVMS Alpha プラットフォーム上の DECwindows Motif レイヤード・ソフトウェアとして大幅にアップグレードされています。日本語 DECwindows Motif V1.3 には、X Window System Version 11, Release 6.6 (X11R6.6) プロトコルをサポートするようにアップグレードされた DECwindows Motif クライアントおよび DECwindows X11 ディスプレイ・サーバ・ソフトウェアが含まれています。

以下の項で、日本語 DECwindows Motif V1.3 の新機能について簡単に説明します。

新しい X サーバ拡張および強化された X サーバ拡張

いくつかのサーバ拡張が X11R6.6 からポーティングされています。表 1 に、本リリースでサポートするサーバ拡張の一覧が含まれています。

セキュリティと認証

MIT-MAGIC-COOKIE-1 および MIT-KERBEROS-5 認証スキームをサポートするために、ホストベースおよびユーザベースのセキュリティ・メカニズムが拡張されています。

ICE (Inter-Client Exchange) およびセッション管理プロトコル

ICE プロトコルは、X サーバを使用せずに直接クライアント通信を行うことを可能にします。

X セッション管理プロトコル (XSMP) は、クライアント・セッションを保管する標準的な方法をユーザに提供します。各セッションは、セッション・マネージャと呼ばれるネットワーク・サービスによって制御されます。セッション・マネージャは、以降のセッションで使用できるように、クライアント・アプリケーションに対して状態情報を保管するよう指示するためのコマンドを発行します。このプロトコルは ICE の再上位で構築され、セッション・マネージャ・サーバに対するクライアント接続を管理します。

プロキシ・マネージャ・サービス

プロキシ・マネージャは、クライアントに代わって、プロキシ・サーバの管理を行います。

欧文フォントの追加

Bitstream Charter, Adobe Utopia, および 2 種類の Speedo フォントなど、ユーロ通貨記号を含み X11R6.6 で利用できる新しいフォントが追加されています。さらに、次の AgfaMonotype TrueType フォントが追加されています。

- Albany, Cumberland, Thorndale, Screen Sans, Screen Serif

また、Agfa Monotype 社の iType フォント・ラスターライザのサポートもライセンスされています。

ユーロ・サポート

ユーロ記号のサポートが追加されています。

新しい入力サーバ

X11R5 および X11R6 双方をサポートする新しい日本語入力サーバが提供されています。

DECwindows デスクトップ環境

利用できる 2 種類のデスクトップ環境はどちらも同じような機能を提供しますが、ルック・アンド・フィール (見た目と使い心地) は異なります。インストール時に、どちらか一方のデスクトップをインストールするか、あるいは両方のデスクトップをインストールするかを選択することができ、また両方をインストールする場合は、どちらを標準のデスクトップとして設定するかを選択することができます。両方のデスクトップがインストールされている場合、特権ユーザは、システム設定ファイルを編集して DECwindows を再起動することにより、デスクトップを切り替えることができます。

New Desktop を選択しても、これまで使用していた DECwindows Motif アプリケーションは実行できます。すべての DECwindows アプリケーションは、New Desktop 環境内で実行できるように構成することができます。

どちらのデスクトップもオンライン・ヘルプが提供されています。

以下の 4 つのコンポーネントは両方のデスクトップで共有されます。これらのコンポーネントは、それぞれのデスクトップで別の名前と呼ばれる場合もありますが、機能は同じです。

基本的なコンポーネント

DECwindows Motif のユーザ環境には、次の 4 つの基本的なコンポーネントがあります。

• セッション・マネージャ

従来のデスクトップ上のセッション・マネージャは、DECwindows ワークステーションに対する最上位のユーザ・インタフェースとなります。このコンポーネントから、アプリケーションの起動およびセキュリティ管理が可能です。New Desktop では、それぞれのセッションのカスタマイズにはスタイル・マネージャが使用されます。画面の色、キーボード・オプション、メニュー、あるいはその他の設定に関する操作は、スタイル・マネージャから行います。

• ウィンドウ・マネージャ

ウィンドウ・マネージャにより、ウィンドウのサイズの変更、ウィンドウの移動が可能です。標準のウィンドウ・マネージャとして Motif ウィンドウ・マネージャが提供されていますが、DECwindows XUI ウィンドウ・マネージャを選択することもできます。ウィンドウ・マネージャは、個々のユーザごとに選択することも、システム管理者によりシステム全体で選択することもできます。

• ファイルビュー/ファイル・マネージャ

ファイルビュー (従来のデスクトップ) およびファイル・マネージャ (New Desktop) は、両方とも OpenVMS ファイル・システムに対するグラフィカル・インタフェースです。どちらのインタフェースも、ユーザがファイル・システムをナビゲートしファイル进行操作することを可能にします。アイコン・ベースのファイル・マネージャにドラッグ・アンド・ドロップ機能を組み合わせて、ファイルの管理を素早く便利に実行することができます。どちらのコンポーネントも、ファイル・タイプ、サイズ、日付などでファイルをフィルタリングすることができます。

- 漢字端末エミュレータ

漢字端末エミュレータは、ワークステーション・ユーザが既存の OpenVMS 機能およびアプリケーションを使用できるように、従来の文字セル・インタフェースを提供するための VT320 端末エミュレータです。この機能は、ReGIS および sixel に対応していますが、完全な VT340 互換ではありません。VT52, VT100, VT220, VT320 クラスの端末用に作成され OpenVMS 端末ドライバ機能を使用しているプログラムであれば、プログラムに変更を加えなくても漢字端末エミュレータのウィンドウで動作させることができます。漢字端末エミュレータには、マウスによるカーソルの位置合わせ、画面サイズの変更機能、漢字端末エミュレータと他の DECwindows Motif アプリケーション間でのテキストのカット・アンド・ペースト機能など、ワークステーション指向の機能も提供されています。

デスクトップ・アプリケーション

日本語 DECwindows Motif は、コンピュータの操作方法を習得しやすい共通のルック・アンド・フィールを採用した、一連の統合されたデスクトップ・アプリケーションを提供しています。

日本語 DECwindows Motif V1.3 では、次のデスクトップ・アプリケーションを利用することができます。

- ブックリーダー — オンラインで提供されているドキュメントの内容を表示するためのツールです。
- 電卓 — 基本的な科学計算用の電卓。
- カレンダー — 個人用のスケジュール管理システム。
- カード管理 — オンライン・アドレス帳や電話帳と同様の、デスクトップ上のカード索引機能および整理ファイル機能。
- 時計 — アラーム付きのアナログ式またはデジタル式の時計。
- コンピュータ支援学習 — 初心者の方の Motif ユーザのためのオンライン・チュートリアル。ユーザは、マウスの使用方法や Motif を使用した簡単な操作を学習することができます。
- メール・プログラム — OpenVMS メール・プログラム機能に対する DECwindows ユーザ・インタフェース。
- メッセージ・ウィンドウ — 新着メールの通知やシステム管理者メッセージなどのシステム・メッセージを表示するためのウィンドウ。
- ノートパッド — 簡易テキスト・エディタ。
- ペイント — 簡易ビットマップ・グラフィックス・エディタ。
- 画面印刷 — 画面の画像を取り込むツール。取り込んだ画像は印刷およびファイルへの保管が可能です。

- パズル — 数字の入ったタイルで遊ぶゲーム。
- DECsound — 録音メッセージの再生、音声メッセージの記録、録音メッセージのメール送信、録音メッセージの文書への取り込みなどが可能な、使い易いアプリケーション。DECsound は TURBO チャネル・システムでのみ使用可能です。なお DECsound の GUI は英語です。

New Desktop

New Desktop には、従来のデスクトップでは提供していなかったいくつかの機能が含まれており、より生産的な環境を提供します。

- フロント・パネル — フロント・パネルはアプリケーションへのアクセスを簡単に行うための機能を提供します。この機能により、ユーザは、カスタマイズしたワークスペースを選択したり、アイコンで表現されたアプリケーションをクリックしてアプリケーションを簡単に起動することができます。
- ワークスペース — ワークスペースは仮想スクリーンです。この機能により、作業とその作業に必要なアプリケーションを同じワークスペース上にまとめることができます。あるワークスペースを選択した場合、そのワークスペースで実行されたアプリケーションのみが画面に表示されます。
- セッションの保管/リストア機能 — 実行中のアプリケーションの自動保管/リストア機能。New Desktop からログアウトすると、セッションの状態が保管されます。次回ログインする際には、ログアウト時に実行中で自動保管/リストア機能をサポートするアプリケーションは、再び起動されます。

New Desktop は CDE をベースにしていますが、CDE の完全な実装ではありません。New Desktop には次の CDE コンポーネントが組み込まれています。

- アプリケーション
 - dtlogin: ログイン・マネージャ
 - dthello: ログイン・マネージャとウィンドウ・マネージャとの間に表示される挨拶画面
 - dtscreen: スクリーン・サーバ画面
 - dtypad: エディタ
 - dtclock: デジタル時計
 - dtsession: セッション・マネージャ
 - dtstyle: スタイル・マネージャ
 - dtwm: ウィンドウ・マネージャ, コントロール・パネル
 - dtfile: ファイル・マネージャ, アプリケーション・マネージャ
 - dtcalc: 電卓
 - dticon: アイコン・エディタ

- dtcreate: アクション・データベースのエントリ作成ツール
- dthelpview: ヘルプ・ビューア
- セキュリティ・オプション: スタイル・マネージャは、ローカル・クライアント・アプリケーションおよび X ディスプレイ・サーバの両方で使用する認証メソッドを設定するためのセキュリティ・オプションを提供します。これらのオプションにより、MIT-KERBEROS-5 (Kerberos) プロトコルまたは MIT-MAGIC-COOKIE-1 (Magic Cookie) プロトコルをベースにした X サーバへのアクセス、または、許可されたユーザのリストによる X サーバへのアクセスを管理することができます。これらのオプションにより、ユーザは、X サーバへの接続時にローカル・クライアント・アプリケーションが使用する方法を指定することができます。
- [キーボードの選択]ダイアログ・ボックス
- [入力サーバの選択]ダイアログ・ボックス
- DECwindows アプリケーションの保管/リストア機能
- dthelpgen: フロントパネルのヘルプ・ビューアから表示するためのヘルプ・ボリューム作成用ユーティリティ
- dthelptag: HelpTag 付きのソース・ファイルを実行時ヘルプ・ファイルにコンパイルするためのアプリケーション
- dximageview: イメージ・ビューア
- ライブラリ
 - dthelp: ヘルプ・ユーティリティ機能
 - dtsvc: 関連ユーティリティ・ルーチン
 - dtwidget: CDE カスタム・ウィジェット

次の CDE コンポーネントは既存の DECwindows Motif アプリケーションに置き換わります。

- dtmail — DECwindows メール・プログラムに置き換わります。
- dtcm — DECwindows カレンダーに置き換わります。
- dtterm — DECwindows 漢字端末エミュレータに置き換わります。
- 印刷マネージャ — DECwindows 印刷ウィジェットに置き換わります。

次の CDE コンポーネントは、New Desktop には組み込まれていません。

- アプリケーション・ビルダ

- ToolTalk — 内部で一部の ToolTalk 機能をエミュレートする ICCM (Inter-Client Communications Manual) 転送メカニズムを実現していますが、これをベースに ToolTalk メッセージ送信サービス API を開発に利用することはできません。
- ウィンドウ処理 Korn シェル
- MIME (マルチパーパス・インターネット・メール拡張) サポート

X Window ユーティリティ・プログラムのサポート

いくつかのユーティリティ・プログラム、ビットマップ、X11 Release 4 から Release 6 に含まれている各種ユーティリティ・ライブラリが、本リリースの日本語 DECwindows Motif に含まれています。また、これらのユーティリティのサブセットのソースおよびイメージも含まれています。

各国語サポート

DECwindows Motif では標準の英語に加え、各国語対応のユーザ・インタフェースが提供されています。オプション製品あるいは対応している各国語の構成が利用可能かどうかについての最新の情報は、最寄りの弊社の各支店/営業所にお問い合わせください。各国語キットについての詳細は、その言語の『ソフトウェア仕様書』を参照してください。また、現在お読みの SPD の「注文方法」および「ソフトウェアのライセンス契約」の項も参照してください。

プログラミング・サポート

日本語 DECwindows Motif 環境には、アプリケーション開発者が利用できる多種多様なプログラミング用のライブラリあるいはツールが組み込まれています。ライブラリは共有可能イメージの形式で提供されています。Motif リリース 1.2.5 (CDE Motif 1.0) プログラミング・サポート・ツールは提供されていますが、Motif リリース 1.1.3, リリース 1.2.2, リリース 1.2.3, および XUI プログラミング・サポート・ツールは組み込まれていません。

次の 3 種類に分類されるライブラリが用意されています。

- Xlib あるいは Intrinsics などの標準 X Window System ライブラリ (X ツールキット)
- Motif ユーザ・インタフェースのスタイルを踏襲したアプリケーションの開発を支援する Motif 1.2.5 ツールキット
- 拡張機能を提供する次のような HP の付加価値ライブラリ
 - Motif (DXm) に対する DECwindows 拡張
 - CDA のサポート

- XUI インタフェースから Motif ユーザ・インタフェースにアプリケーションを変換する移植ツール

以上の各構成要素は、アプリケーションの必要に応じてどのようにも組み合わせて使用することもできます。また、各構成要素が種々のプログラミング言語のツールを使用することもできます。

次の各プログラミング言語用の Motif 言語バインディングが用意されています。

- Compaq Fortran for OpenVMS Alpha
- Compaq Pascal for OpenVMS Alpha
- Compaq C for OpenVMS Alpha

さらに、The Open Group 提供の C ヘッダ・ファイルが Compaq C++ とともに動作するように変更されています。Pascal および Fortran の各バインディングが DECwindows Motif キットに含まれており、Compaq Ada for OpenVMS Alpha レイヤード製品では、Motif の "strongly typed" Ada 言語バインディングが提供されています (Ada 言語バインディングは DECwindows Motif V1.3 用にはアップデートされていません)。

その他のプログラミング・サポート・ツールについては、DECWSEXAMPLES_JA_JP ディレクトリに含まれている以下のサンプル・プログラムを参照してください。

- Motif ウィジェット・セットのサンプル・プログラム
- X11 R4 および X11 R5 プログラミング・サンプル (Xlib サンプル)
- 弊社提供のサンプル・プログラム

プログラミング・サポート・ライブラリ

以下の各項ではプログラミング・サポート・ライブラリについて説明します。

標準の X Window System ライブラリ

DECwindows Motif に組み込まれている X Window System 互換 X プログラミング・ライブラリ (Xlib) には、基本的なリソース管理 (ウィンドウ、カラーマップ、入力デバイス) およびビットマップのグラフィックス・サービスが含まれており、プロシージャ・ライブラリには X ネットワーク・プロトコルのマッピングが定義されています。

X Window System Intrinsics ライブラリには、X コンソーシアムの Release 6 (R6) Intrinsics (X ツールキット) が含まれています。X ツールキットは、ウィジェットと呼ばれるユーザ・インタフェース・オブジェクトの作成を可能とする下位ルーチンを提供しています。

Motif ユーザ・インタフェースによるプログラミング・サポート

Motif のスタイルのコンセプトは、Motif ツールキットによって実現されています。DECwindows Motif には Motif と XUI の 2 つのツールキットが含まれています。以前のリリースに対するプログラミング・サポートは含まれていませんが、XUI ツールキットだけでなく Motif リリース 1.2.5 (CDE Motif 1.0)、Motif リリース 1.2.3、リリース 1.2.2、リリース 1.1.3 の各ツールキットにはアプリケーションの実行時サポートが提供されています。

Motif ツールキットは X Toolkit Intrinsics をベースにしており、次の 3 種類のコンポーネントが含まれています。

- スクロール・バー、メニュー、プッシュ・ボタンなど、ユーザ・インタフェースの共通オブジェクトを実現するための Motif ウィジェットおよびガジェット。
- カット・アンド・ペーストなどの共通操作を実行するための機能を提供する、ユーティリティ・ルーチン。
- ユーザ・インタフェース定義ファイルを読み込んで、定義ファイルの内容を基にしてウィジェットやガジェットを作成するための、リソース・マネージャ・ルーチン。

既存の Motif リリース 1.2.3 アプリケーションは、CDE 環境で実行するのに再コンパイルや再リンクは必要ありません。また、アプリケーション・ソースコードの変更を行わないでも、既存のアプリケーションの CDE への基本的な統合を実現することができます。

Motif に対する DECwindows 拡張

日本語 DECwindows Motif 製品は The Open Group では用意していない弊社独自のウィジェットおよび実行時ルーチンが付け加えられたライブラリを含んでいるため、標準の Motif Toolkit よりも高機能なものとなっています。次の各ウィジェットにより、いくつかの一般的に使用される DECwindows 機能に対する共通の DECwindows インタフェースを提供しています。

- 種々のカラー・モデルを使用してユーザによる色の選択および混色を可能とするカラー・ミックス (Color Mix)・ウィジェット。
- 英語以外の言語で左から右へ書く文字セットだけでなく、右から左へ書く文字セットをサポートする、複合文字列テキスト (Compound String Text)・ウィジェット。
- アプリケーションが一貫した方法で該当するヘルプ・テキストを表示するためのヘルプ (Help)・ウィジェット。このウィジェットは、旧バージョンの DECwindows Motif for OpenVMS V 1.0 との下位互換性のために提供されており、DECwindows Motif ヘルプ・システムと置き換えられています。

- アプリケーションが一貫した形式でファイルを印刷できるようにするための印刷 (Print) ウィジェット。
- 階層情報を表示するためにアプリケーションが使用する SVN (Structured Visual Navigation) ウィジェット。

実行時ルーチンには、ユーザがブックリーダを使用してオンライン・ヘルプ・ファイルを表示できる、日本語 DECwindows Motif ヘルプ・システムの3種類の呼び出しルーチンがあります。

CDA (複合ドキュメント・アーキテクチャ) プログラミング・サポート

CDA ツールキットは、アプリケーションが、複合テキスト、グラフィックス、およびイメージを含むような複合ドキュメント・ファイルを作成したり、読み書きするためのアクセス・ルーチンを提供します。この複合ドキュメント・ファイルは、単にこのような情報をディスク上に保存するためだけではなく、アプリケーション間でのデータ交換や、高解像度のグラフィックス印刷のための中間ファイルとしても使用することができます。

XUI から Motif への移植ツール

プログラマ用に、アプリケーションを Motif へ移植するための支援ツールが用意されています。これらのツールは、入力ソース・ファイルに現れる XUI 名を正しい Motif 名に置き換えます。

DECwindows X11 ディスプレイ・サーバ

DECwindows Motif の一部としてサポートされる X Window System 標準は、X11 ネットワーク・プロトコル、ワークステーション・フォントの基本セット、および Xlib プログラミング・ライブラリに対する C 言語バインディングを含んでいます。

クライアント・ライブラリとディスプレイ・サーバ・コンポーネントにおける X11 ネットワーク・プロトコルのサポートは、分散形式で他の X11 準拠のシステムと通信する機能を OpenVMS Alpha オペレーティング・システムに提供します。

DECwindows Motif V1.3 は、ローカル共有メモリ、DECnet、TCP/IP の3種類のトランスポート・インタフェースを提供します。DECwindows Motif V1.3 以降では、ユーザ作成のトランスポート・サブシステムとトランスポート・インタフェースはサポートされません。LAT トランスポート・インタフェースのサポートは、DECwindows Motif V1.3 では提供されません。

X 拡張

日本語 DECwindows Motif V1.3 には新しい X 拡張が追加されています。次の表に、OpenVMS Alpha でサポートするすべての拡張を示します。

表 1
サポートされる X 拡張

タイトル	省略形
アプリケーション・グループ†	XC-APPGROUP
ビッグ・リクエスト†	BIG-REQUESTS
カラーマップ利用ポリシー†	TOG-CUP
D2DX	D2DX
DEC XTrap	DEC-XTRAP
拡張ビジュアル情報 ¹	EVI
低帯域幅 X†	LBX
MIT Miscellaneous	MIT-SUNDRY-NONSTANDARD
MIT スクリーン・セーバ	MIT-SCREEN-SAVER
MIT 共有メモリ	MIT-SHM
マルチバッファリング	MBE
非直角ウィンドウ形状	SHAPE
XC-MISC†	XC-MISC
X ダブル・バッファ†	DBE
X イメージ拡張 ²	XIE
XINERAMA† ¹	XINERAMA
X キーボード†	XKB
X プリント† ³	XPRINT
X シンクロナイゼーション†	SYNC
X テスト	XTEST
セキュリティ†	SECURITY

¹以前の PANORAMIX

²V3.0 でのみサポート

³クライアントのみ

†V1.3 で新たにサポート

以前のリリースの DECwindows Motif で提供していた AccessX 拡張は X キーボード (XKB) 拡張で置き換えられています。XKB 拡張は AccessX サポートを完全に提供します。

変換イメージ環境

HP DECwindows Motif for HP OpenVMS Alpha は、DECwindows Motif V1.1 あるいは XUI VAX のイメージからのバイナリ変換を受けたプログラムの動作を可能にするための多数のサービスを提供しています。これらのプログラムは、仮想的にすべてのユーザ・モード機能を DECwindows Motif for OpenVMS Alpha システムで実行することができます。ただし、変換されたイメージで使用される DECwindows Motif for OpenVMS Alpha の共有可能イメージは、ネイティブのイメージが使用する共有可能イメージとは別のもので互換性もありません。DECwindows Motif for OpenVMS Alpha ソフトウェアを使用するネイティブのイメージおよび変換されたイメージを同じプロセスで使用することはできません。

TIE (変換イメージ環境) は、特別なソースコードを要求することなく、浮動小数点レジスタ、条件コード、例外処理、非同期システム・トラップなどの VAX と Alpha のアーキテクチャの違いを自動的に解決します。

DECwindows Motif に含まれている変換イメージ環境は、どのような環境で変換されたイメージであれ、それらを実行するのに十分な環境を備えています。

DECwindows Motif for OpenVMS のドキュメント

利用できるドキュメントおよびメディアのフォーマットについては『hp DECwindows Motif for hp OpenVMS) Alpha Documentation Overview』を参照してください。OpenVMS Software Product Library CD-ROM で DECwindows Motif for OpenVMS を入手した場合は、ドキュメントがブックリーダおよび HTML 形式で提供されています。印刷されたドキュメントは別途購入する必要があります。

CDE ドキュメント

CDE (共通デスクトップ環境) のマニュアルは、New Desktop のサポートで提供されます。これらのマニュアルは、DECwindows Motif の CD-ROM キットに HTML 形式で格納されており、ブラウザで読むことができます。CDE ドキュメントは、日本語 DECwindows Motif のハードコピー版のドキュメント・セットには含まれていません。

CDE のドキュメントとリファレンス・ページに記述されているすべての情報が New Desktop に当てはまるわけではないことに注意してください。New Desktop についての正確な説明は、『New Desktop 使用概説書』を参照してください。

必要なハードウェア

日本語 DECwindows Motif は対応する任意のプロセッサ上で実行することができますが、ディスプレイ装置としてワークステーション、Microsoft Windows ベースのパソコン、マッキントッシュ、X 端末のいずれかが必要です。以上のディスプレイ装置は、X Window System V 11 Release 6 (R6) 準拠のディスプレイ・サーバを実行していることが必要です。

サポートする Alpha プロセッサ

日本語 DECwindows Motif は、OpenVMS Alpha オペレーティング・システムの『Software Product Description』(SPD 25.01.xx) に示す Alpha プロセッサに対応しています。

ディスクの必要な空き容量 (ブロック・クラスター・サイズ単位)

- 日本語 DECwindows Motif のインストールに必要な空き容量 (国際化版を含む) : 165,000 ブロック
- 日本語 DECwindows Motif の使用に必要な空き容量 (国際化版を含む) : 163,000 ブロック

日本語 OpenVMS Alpha および日本語 DECwindows Motif for OpenVMS Alpha の全機能をサポートするには、最低 550 MB 以上が望ましいシステム・ディスクの空き容量です。この値には、日本語 DECwindows Motif 環境のサブセットをインストールするための容量も含まれています。日本語 HP DECwindows Motif for HP OpenVMS Alpha V1.3 のインストール時には、次のコンポーネントのすべて、または一部を選択してインストールすることができます。

- 実行時サポート・ファイル (基本キット) — 36,000 ブロック。日本語 DECwindows Motif for OpenVMS Alpha の各アプリケーションの Alpha 演算サーバ上での実行時サポートを提供するもので、インストールに不可欠なコンポーネントです。
- New Desktop — 64,000 ブロック。New Desktop 環境を使用できるようにするためのオプション・コンポーネントで、アプリケーションや API (アプリケーション・プログラミング・インタフェース) が含まれています。
- 変換イメージ・サポート — 20,500 ブロック
- キーマップ — 700 ブロック。このオプションにより、日本語専用キーボードに対応できるようになります。
- 75 DPI フォント — 24,800 ブロック。75 DPI ディスプレイ装置用の日本語表示フォント。
- 100 DPI フォント — 19,000 ブロック。100 DPI ディスプレイ装置用の日本語表示フォント。

必要なメモリ

システム・ユーザが日本語 HP DECwindows Motif を、日本語 HP OpenVMS Alpha にインストールして起動し、ログインするために最低限必要なメモリは 64 MB ですが、より高速に処理するには 128 MB を装着することを推奨します。アプリケーションをリモートで実行するには、アプリケーションを表示するローカル・ワークステーションとは別に、そのアプリケーションを実行するもう 1 つのシステムが必要です。

日本語 HP DECwindows Motif for HP OpenVMS Alpha を実行中の日本語 OpenVMS Alpha システムの処理速度およびメモリ使用量は、システムの構成とウィンドウやアプリケーションの使用量により異なります。

なお、日本語 HP DECwindows Motif for HP OpenVMS Alpha の今後のバージョンでは、必要なメモリ量が変わられる場合があります。

複数画面構成のサポート

複数画面構成は、複数のグラフィックス・オプションをサポートする 1 台のワークステーションから構成されます。グラフィックス・オプションは、グラフィックス・コントローラおよびモニタから構成されます。複数画面構成では、すべてのグラフィックス・カードが同じモデルでなければならないことに注意してください。複数画面をサポートするワークステーションについては、最寄りの弊社の各支店/営業所に問い合わせるか、または次の URL から製品情報を参照してください。

<http://www.hp.com>

周辺装置

VSXXX-AB	タブレット (マウスに代わる)
VSXXX-JA	ヘッドホン
VSXXX-AA	マウス
VSXXX-FA	マウス

クラスタ環境

この製品は、OpenVMS Alpha V7.3-1 システムにインストールされており有効なライセンスがある場合、クラスタ構成でもサポートされます。

注意: VMScluster 構成については『OpenVMS Cluster Software Product Description』(SPD 29.78.xx) に詳しく説明されています。また、この構成には CI, Ethernet および混合インターコネクト構成が含まれません。

必要なソフトウェア

日本語 DECwindows Motif for OpenVMS V1.3 は、日本語 OpenVMS Alpha Version 7.3-1 でサポートされません。

オプション・ソフトウェア

- HP PATHWORKS 32 (SPD 56.33.xx)
- 日本語 HP TCP/IP Services for OpenVMS (SPD 46.46.xx)
- HP DECnet-Plus for OpenVMS (SPD 25.03.xx)
- HP DECnet for OpenVMS (Phase IV) (SPD 48.48.xx)
- OpenVMS 対応の Kerberos クライアント

バージョン・アップの考慮

今後のバージョンで最低限必要なハードウェアおよびソフトウェアは、現行バージョンのものとは異なる可能性があります。

提供媒体

日本語 DECwindows Motif V1.3 ソフトウェアは OpenVMS ソフトウェア・プロダクト・ライブラリ (Software Products Library) の CD-ROM に含まれています。

注文情報

詳細については、最寄りの弊社の各支店/営業所までお問い合わせください。

ソフトウェア・ライセンス契約

本ソフトウェアはライセンス契約に基づいてのみ提供されます。弊社のライセンス契約の諸条件と諸方針についての詳細は、最寄りの弊社の各支店/営業所までお問い合わせください。

ライセンス管理機能のサポート

日本語 HP DECwindows Motif for HP OpenVMS では、OpenVMS LMF (ライセンス管理機能) をサポートしています。日本語 HP DECwindows Motif for HP OpenVMS のライセンス・ユニットは、システムの無制限の利用ベースと個人利用ベースに割り当てられます。個人の場合は、認定された個人利用ライセンスを受けた方だけがレイヤード製品を使用できるようになります。

ライセンス管理機能についての詳細は、OpenVMS VAX あるいは OpenVMS Alpha オペレーティング・システムの『Software Product Description』(SPD 25.01.xx)、または OpenVMS Alpha オペレーティング・システム関連のドキュメントを参照してください。

ソフトウェア保証

本ソフトウェアについては、弊社所定のソフトウェア保証基準に定められた保証が提供されます。

ソフトウェア製品サービス

弊社では、さまざまなサービス・オプションを提供しています。詳細については、最寄りの弊社の各支店/営業所にお問い合わせください。

© 2003 日本ヒューレット・パカード株式会社

ここに記載されているすべての製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

本書に記載されている事項は、予告なく変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。万一、本書の記述に誤りがあった場合でも、日本 HP は一切その責任を負いかねます。

